

小雀公園 里山通信

Vol.36 秋の草刈と湿地の作業

小雀公園では9月に入ると、スギ林、ため池周り、ヨシ原といった広範囲の草刈を行います。草刈りを行うと見通しが良くなるので、こんなに広々していたんだと感じます。いつもこういう状態にしてほしいと思う人は多いと思いますし、草が茂りすぎなので刈ってほしいといったお声をいただくこともたびたびありますが、茂った草地があることで、様々な生きものたちが人や天敵から隠れながら、生息できるようになります。市街地における生きものたちの貴重な棲みかとして、小雀公園はかなり大きな役目を果たしているので、人と生きものが同じくらいの比重で利用しやすい公園になってくれるといいなと思いながら、日々の管理作業を行っています。



色づく秋の小雀公園

そんな隠れ場としての大事な役割があるので、草を刈るときも高めに刈るなどの配慮をしています。成虫で越冬する昆虫や、晚秋まで生き延びている虫たちも、モズなどの捕食者からいくらかは身を守ることができます。

広い場所の草刈が終わったら、今度はこれまでなかなか手が行き届かなかった細部の作業に着手します。特に気になりつつも重労働になるのがわかっているので、後回しにしていた湿地園の管理も重点的に行っていきます。湿地園は定期的にヨシの抜き取りを行っていますが、抜きすぎるとイトトンボのような小型の生きものが生息しづらくなるので、あえて残してはいたのですが、今度は手が付けられないほどにヨシが茂ってしまったりと、コントロールがとても難しいです。今年は繁茂しすぎてしまったので、がんばって抜き取りを進めていきたいと思っています。

ある程度抜いたつもりでも、ヨシの根は地中深くまで繁茂しているため、スコップで掘り出せる範囲ではたかが知れていますが、それでもやらないよりは発生密度が低くなるので、春までに少しずつコツコツと作業を進めていく予定です。

かなり根気と体力が必要な作業となります。職員が座り込んでいたとしたら、さぼっているのではなく力尽きる寸前、もしくは精も根も尽き果てている状態なのでご容赦ください。見かけたときは応援してあげてくださいね！



泥だらけ！腰がヤバい！



小雀公園 ☎045-853-1945
<https://midocomi.com/kosuzumepark.html>
横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

